



聖鋏会報

発行所
北海道立農業大学校
同窓会

〒089-3675
中川郡本別町西仙美里25-1
電話 0156-24-2122
F A X 0156-24-2421
編集 事務局



北海道立農業大学校同窓会

会長 津島 朗

まさか、こんなことが

同窓会の皆様方におかれましては、日頃より同窓会活動に、ご理解、御協力を頂き感謝申し上げます。

今年の秋は、暖かいなかで収穫作業が無事に終わることができました。

今年は、春の植え付け作業等が順調に進み、昨年に続いて豊作の期待が高まるなかでのスタートとなりました。

六月に入り長雨、低温が続き凶作が心配の年になりましたが、七月以降の好天に恵まれ、多くの方々が平年作以上の結果になったことと思います。

しかしながら湿害に遭われた圃場等が散見され、あらためて土地改良等の重要性を実感する年となりました。

九月六日早朝、胆振東部地震が発生し、被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

その後、火力発電所の被災により北海道全域に渡るブラックアウト

期別世話役

〔農講〕2 鈴木一義 / 5 菅谷誠・渡辺善信 / 7 永井頼恵 / 8 植田博 / 10 森山睦美 / 11 太平清吉 / 13 辺見政孝 / 16 小南和夫 / 17 佐川満 / 18 吉田甫 / 19 西山利昭 / 20 河田裕 / 21 相沢勲 / 22 石川眞清 / 23 松崎文一 / 25 仲鉢昭夫 / 27 芳澤改治

〔農大〕1 川本秀二 / 2 和田嘉晴 / 3 塩村昭博 / 4 石丸博雄 / 5 高井正行 / 6 道下貞夫 / 7 笹島喜郎 / 8 岩井敦史 / 9 井出和美 / 10 富山和也 / 11 石原英之 / 12 森本耕二 / 13 宮本茂行 / 14 牧村康弘 / 15 小松洋一 / 16 遠山昇治 / 17 田村直樹 / 18 大裕晋二 / 19 近藤大樹 / 20 三田浩司 / 21 佐藤昭徳 / 22 熊谷直哉 / 23 田中真理子 / 24 塚田秀則 / 25 齋藤かおり / 26 日光純一・渡邊基樹 / 27 柏葉宏樹・嶋貴一也 / 28 鈴木隆也・中澤光太郎 / 29 今西大和・今野大吾 / 30 山本秀幸・佐藤貴文 / 31 中澤好喜・幕田桂一 / 32 黒川昌毅・若木章宏 / 33 廣瀬正幸・下田奨 / 34 毛房智幸・原田宏幸 / 35 谷川和樹・那賀島充人 / 36 大友詠吉・喜多真悟 / 37 高橋裕貴・柴田悠 / 38 田中啓太・前畑龍之介 / 39 伊藤彰子・山内良介 / 40 平井良・小西勇生 / 41 櫻井慶・牛島隼也 / 42 橋村翼・不藤翔太 / 43 小笠原圭佑・岩岡健太郎

〔農大稲作〕1 吉田和浩 / 2 大江博之 / 3 穴戸聖 / 4 平塚美明 / 5 水嶋淳・伊藤優治 / 6 石川英樹 / 7 嶋田雅虎 / 8 泊り雅幸 / 9 石崎憲一 / 10 富樫孝 / 11 岡村博信 / 12 平隆之介 / 13 吉見拓也 / 14 吉村正之 / 15 森勇貴 / 16 石川大輔 / 17 竹内誠 / 18 國岡晃平 / 19 中山義之 / 20 外山隆祥 / 21 下道達也 / 22 黒田直樹 / 23 久保田和伸 / 24 佐々木智彦 / 25 加茂貴 / 26 山本翔太 / 27 宗万恵一 / 28 坂本賢一 / 29 水野雄貴 / 30 宮田知輝 / 31 朝山雄斗

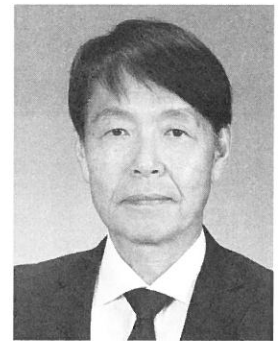
〔農大研究〕1 内野康晴 / 2 加藤幸嗣 / 3 木村晴美 / 4 山岸淳 / 5 中西崇継 / 6 今西大和 / 7 仁井邦夫 / 8 鈴木健司 / 9 佐藤直哉 / 10 富永浩貴 / 11 上村優太 / 12 小崎光 / 13 松浦豊 / 14 元山亮真 / 15 山崎大裕 / 16 佐藤広基 / 17 戸田賢治 / 18 山口義之

トが発生しました。これにより電気の生活の不便さを痛切に感じる事となりました。また大手通信会社による大規模な通信障害の発生、皆さんがまさかこんなこと等が起きるとは、と驚きを感じたことと思います。

食糧に関しても今は、十分に輸入ができて足りています。しかし未来には不安を感じずにはいられません。「まさかこんなこと」ということが、これからも起きる気がしてなりません。食糧生産現場には、GPSによる自動操舵、ドローンを使った作業等にICT、AIを使う機器が加速して活用が進んできています。

生産技術の革新がより良く進み、このことが全ての事態の解決にはなりません、少しでもまさか起きない社会を願いたいものです。食糧にかかわる職業の同窓生の皆様、そして農業の担い手を育てる農業大学の役目の重要性を強く感じます。

今後とも同窓生の皆様のご指導、ご協力をお願いします。



北海道立農業大学 校長

山黒 良寛

ここ本別町でも、寒さが日を追って厳しくなってきました。同窓会の皆様は如何お過ごしでしょうか。

今年は、春先の好天から一転し、低温や長雨により牧草の品質低下や畑作物に湿害が発生しました。

九月には未曾有の震災に見舞われ、道内が一斉に停電しました。被災されました皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

その時、農大では水道も止まりました。農大の水回りは全てポンプで稼働しているからです。かうじて皆さんもご存じの「仙風荘」の水道が出ましたので、飲用水、トイレの水、牛への給水は全てその一つの蛇口から賄いました。

折しも一年生は体験学習中で、早朝から全員の安否確認を行い、

長期停電に備えて本別町に非常食の提供をお願いしました。

搾乳作業用に発電機をリースし、乳・肉製品は冷凍庫から外部電源の取れるストッカーに移動させました。

学生寮には非常用ランタンで廊下の明かりを確保するなど安全の確保に努め、学生と家族の連絡が途絶えないよう一晩中発電機から携帯電話の充電を行いました。

夜、農大周辺を見回っていますと暗闇の中から数人の学生の声が聞こえ、学生と私は一緒になっていつもより強く輝く星を眺めました。

幸いにも停電による事故は発生しませんでした。便利な日常に感謝すると同時に、農大で一番古い仙風荘に助けられたことに感慨深いものを感じます。

ただ、このような状況の中、二年生は困っている仲間を気遣い、規律を守り不測の事態にも冷静に対応してくれました。偏に農大生活で培った仲間意識や連帯感の賜であると思います。

本校は、今までに五千名を超える卒業生を輩出し、本道農業の発展に寄与する担い手育成に努めて参りました。農業・農村の状況が刻々と変化するなか、地域をリードする担い手は時代の流れを的確に分析し冷静に対応できる能力が求められます。さらに自立心や協調性、心豊かな人間性が備わっていなければなりません。今回、二年生はリーダーとして成長している片鱗を見せてくれました。農大生は、次代と地方創生を担う本道の財産です。我々職員もその責務をしっかりと果たせるよう学生教育に取り組んで参ります。

同窓会の皆様には、今後とも後輩達にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

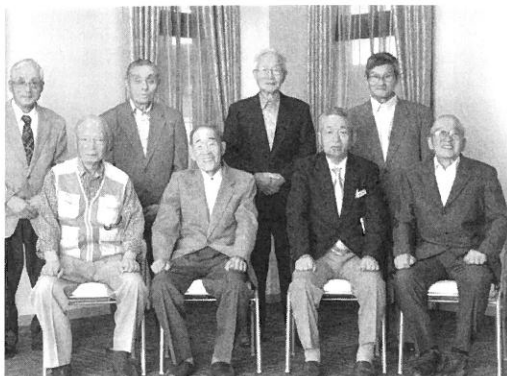
期別活動

第八回「農講七期会」

事務局 土門 満男

農講七期生は、今回オホーツク地区が担当で「第八回の集い」を遠軽町で開催致しました。会場のホテルはJRの駅・バスターミナルから近いのが良くて決めました。

前回は報告しましたが、高齢の為か、体調不良が多く参加者が少なくなり、昨年の「集い」で次回は最後と決めて、今回開催しましたが、やはり、体調不良の方が多



30年8月22日 第8回農講七期生の集い
於遠軽 Hサンシャイン

く、二十五名中、八名の参加となりました。

今回をもちまして全体での集まりはしない事とし、振興局又は地域的な範囲での集まりを適宜行える様決めました。しかし、同窓生には変わり有りませんので、健康の許す限り本部からの連絡等には対応しなければならぬと話していました。

農大二十三期畑園同窓会

事務局 中村 和彦

前回の聖鋤会報第四十三号に間に合わなかったため今回掲載させて頂きました。

平成三十年一月二十日、幕別温泉グランヴィリオホテルにて同窓会を開催いたしました。在学当時、校庭周辺の整備や現在の新校舎が建てられていく様子を横目に、指をくわえながら過ごした私たちは、旧校舎の最後の卒業生として歴史の節目を味わいました。

あれからちょうど二十一年の節目を迎え、苦笑いするほどの残酷な時間の早さを感じつつ、当時の

冷え切った校舎での思い出や、若気の至りで遊び回った話、さらに経営者としての農業談話、踏み込んだ生々しい税金対策など夜更けまで楽しい時間は続きました。また、四十代突入世代として仕事や

家庭、さらに地域での荷の重さを抱え始めた立場ゆえの積極的な意見交換により、その上手な解決法もお互いに確認することができました。同じ釜の飯を食べた仲間として、この先も変わらずお互いに支え補い合える輪を大切にしていきたいと思えます。

皆さん、次回の同窓会も笑顔でお会いしましょう。



農大23期生畑作園芸経営学科クラス会

農業大学校の主な行事

平成三十年度 入校式を挙行

四月九日、養成課程五十九名、研究課程六名、研修部門七名の計七十二名が北海道農業の担い手を目指してスタートしました。



入校生代表宣誓



養成課程45期生の真剣な眼差し

小雨の中スタート!
まだ余裕の笑顔



もう少しでゴール!
みんな頑張りました



五月二十五日、五十一回目の強歩大会を行いました。卒業生の皆さんにとっては、懐かしい農大行事ではないでしょうか。
三十二・一九五kmの完走を目指して、午前九時三十分に出発!スタート時は小雨となり、残念ながら十勝晴れではありませんでしたが、徐々に天候も回復し、なんと本年度は、学生も職員もリタイア者ゼロで全員が完走しました。

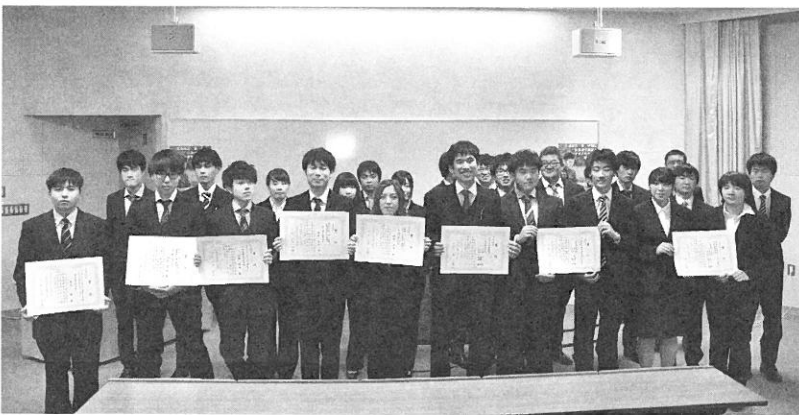
五十一回体力錬成(強歩)大会を開催



質問を受ける発表者

十一月二十七日、一年間の研究成果を振り返るプロジェクト発表・意見発表の校内発表会が開催されました。この大会は、東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会の推薦者を決める校内予選会も兼ねております。

プロジェクト発表会・意見発表会の開催



発表者全員と受賞者

十一月二十七日、一年間の研究成果を振り返るプロジェクト発表・意見発表は一年生の各学科から三名ずつが発表しました。プロジェクトは二年生の各学科から六発表ずつ、意見発表は一年生の各学科から三名ずつが発表しました。
学科別の順位と両学科あわせただでの東日本大会(青森県開催)推薦者が決定しました。

事務局からのお知らせ

- 1 住所の変更について
引越等、住所が変更になった場合は、同窓会事務局までFAXにてお知らせ下さい。
会報の送付先を変更いたします。
- 2 支部活動・同期会の活動助成について
支部活動及び期別活動を計画された際には、同窓会事務局までお知らせ下さい。諸経費の一部を助成します。
活動の様子は、会報で紹介させていただきます。
- 3 その他のお知らせ
平成三十年三月九日(金)卒業式にて、畜産経営学科、畑作園芸経営学科、稲作経営専攻コース、農業経営研究科の卒業生七十一名が、同窓会に入会しました。